

第1回中津川市リニアを活用したまちづくり推進市民会議
主な発言内容（要約）

平成30年12月27日(木)13:30～
中津川市役所本庁舎4階大会議室

まとめ

- ・全体として反対意見はなく、総論としては賛成、各論では今後、課題などをよく話し合っていきたいというご意見でした。
- ・拠点整備については、どのように活用していくのか、市民のためにどういった役割の施設なのかといったところを、もう少し詰めていくべきというご意見がありました。
- ・観光、自然を含めて文化、歴史、スポーツなど、中津川市の豊富な地域資源を活かしていくというところは非常に重要というご意見がありました。

■構想（案）全体について

<委員からの主な発言>

- ・AI や IoT、MaaS などを見組み合わせ、新しいまちはどうなるのか、どんなことが求められるのかということも視点として重要ではないか。
- ・広域連携、周遊を考えると、市内外を繋ぐ道路という点をはっきりと打ち出した方がよいのではないか。
- ・リニアを活用することで、夢を叶えることができる。そういうまちづくりがいい。
- ・まちづくり案は素晴らしいものが示されており、実現できたらすごいこと。
- ・リニアが開業することによって、民間の人と一緒に、市全体で取り組んでいくきっかけになるとよい。
- ・このまちで暮らす子どもたちが歴史などを学ぶ機会をつくり、中津川市で生まれたことを誇りに思いながら育ててほしい。
- ・豊かな観光、文化、芸術、自然に加えて、スポーツも入れてもらいたい。
- ・市外から人を呼び込むために、住宅団地や大規模なスポーツ施設を整備してはどうか。
- ・まちづくり構想が絵に描いた餅にならないよう、しっかり財政見直しをしてもらいたい。地震対策など災害に強いまちづくりも必要。

■リニア駅周辺のまちづくりについて

<委員からの主な発言>

- ・リニア駅は岐阜県の駅であり、県全体の産業、観光の意見を参考にしながら県とのタイアップが大切。大型の農産物直売所など、リニアの観光客だけでなく観光バスも寄れるような施設があるといい。
- ・市内各地を1日周遊してもらって、リニアの運賃が見合うような場所にしたい。

- ・いろいろな方法で来てもらえるよう、交通拠点としての整備、駅前広場も含めた道路のインフラ整備も必要だと思う。
- ・中津川らしい駅を作れば、世界中から人が来る。真似をするまちづくりではなく、自分たちのまちをよく知ったうえで、リニア駅を作り上げていけたら良い。
- ・JRとの連携を強め、市の活性化に結びつけて、地域住民にも恩恵があるようにしてほしい。
- ・下呂、高山方面の方がリニア駅を使ってもらえるよう、県民は駐車場無料など、コスト差をつけるなど考える必要がある。

■中心市街地の活性化について

<委員からの主な発言>

- ・市内見学など地域への足止め策として、まちなかの美術館は良いと思うが、前田青邨などの固有名詞を使った方が良い。知名度は、人を集めるのに有効な方法の一つだと思う。
- ・まちなかの拠点施設に域学連携や市民交流の場を入れてほしい。
- ・子育てと学びにつながるため、日本一の子ども図書館を作ったらどうか。

■市内全域をつなぐ観光振興について

<委員からの主な発言>

- ・市内の歴史的な人物、場所を深く掘り下げ、磨き上げて観光に結びつけるという。
- ・地域資源として、スポーツも加えてほしい。
- ・全国、海外からの観光客といかに地域の人たちが交流できるかが大切。
- ・地歌舞伎、馬籠宿などを活用した観光振興のためには、人材育成をしっかりと取り組まないと、今後のまちづくりに生きてこないと思う。